

令和3年度 保健体育科

学年	学習状況の現状分析と課題	指導方法の課題・改善策・補充・発展指導
1学年	<p>男女共習</p> <p>①授業規律が確立できるように集合時間や話を聞く姿勢や挨拶などを徹底した。</p> <p>②1学期末に体力テストを実施した。全体的に体力の低い。特に走力や持久力について、記録の低下がみられ、感染症対策の影響とみられる。</p> <p>③今年度完全実施される新学習指導要領に基づき、男女共習による授業を展開している。小学校でも男女共習で行われていたことから、大きな混乱等もなく実施できている。性差や障害の有無にかかわらず、協力して取り組むことができている。</p>	<p>①毎回の授業のねらいをより明確に伝え、授業への関心を高める。ただ注意をするのではなく、興味を引くような教材を活用して集中して取り組むようにさせる。</p> <p>②体力向上のため、補強運動も工夫する。また、学習活動を十分に保障できるよう、説明等は端的に短く伝えられるよう心掛ける。</p> <p>③授業内におけるICTの導入を行い、効果的に活用し、授業を工夫する。また、グループ活動を取り入れ相互評価を活発に行う。</p> <p>④男女共習の意義を理解させるとともに、男女が協力して安全に運動することの大切さについて繰り返し指導し、それぞれの種目、それぞれの場面で、主体的に行動できるように取り組む。</p>
2学年	<p>男女共習</p> <p>①一学期に体力テストを実施した。全国・東京都からの結果を分析し、授業改善に活かしていきたい。</p> <p>②男女共習による対話的な授業を昨年から継続して行っている。学習カードに的確に課題を記入することができる生徒が増えた。ICTも効果的に活用しながら技のポイントや技能の習得に向けて話し合い活動が充実して行えている。</p> <p>③安全についても自ら判断する力、安全に授業に取り組もうとする姿勢が課題であったが、仲間と協力し合い安全面に配慮する意識が高まった。</p>	<p>①コロナ禍の授業において、活動に制限があるため、例年よりも全体的に進度が遅くなっているが、未履修が無いよう活動内容については工夫を行いながら進めていく。</p> <p>②学習カードの設問の工夫やICTの活用を行い、解決策を考える材料を増やしていく。また、感染対策を行いながらグループ活動を取り入れ相互評価を行う。</p> <p>③毎時間の授業の中で、安全に運動することの大切さについて繰り返し指導し、それぞれの種目、それぞれの場面で、自主的に安全について考え、判断し実践する姿勢を身に付けさせる。</p>
3学年	<p>男子</p> <p>①1年時から多く取り入れている主体的・対話的な取り組みでは、グループやペアを組みお互いに指摘し合いながら技能向上を目指した。しかし、自ら深く調べたり学んだりすることには課題が残る。</p> <p>②話を聞く姿勢や行動にメリハリをつけられるようになってきた。しかし、指示を理解して行動することができないことがある。</p> <p>女子</p> <p>①三年間を通して授業規律が確立され、授業に対する姿勢も前向きである。</p> <p>②コロナ対策の安全面についても自ら判断する力、安全に授業に取り組もうとする姿勢が課題であったが、仲間と協力し合い安全面に配慮する意識が高まった。</p> <p>③どの種目に対しても意欲的に取り組み、目標にむかって努力する姿勢を身に付けさせたい。様々な種目を経験させたい。</p>	<p>男子</p> <p>①学習カードやグループ編成の工夫をして限定した視点で話し合いなどをして、「どうすれば良くなるのか」を考えさせる。また、深く学べるように発展的な指示や例示も行う授業を進行する。</p> <p>②毎回の授業のねらいをより明確に伝え、授業への関心を高める。授業の導入時等にICTの活用を行う等、授業を工夫する。</p> <p>女子</p> <p>①学習内容を確実に習得させるために、今後もさらに授業力が向上するような指導を心掛ける。</p> <p>②球技等を毎時間の授業をより豊かな楽しさを経験させるために、それぞれの種目、それぞれの場面で、自主的に判断し実践する姿勢を身に付けさせる。</p> <p>③生涯にわたって運動に親しむ態度を育成する。</p>